

## 時 の 言 葉

建築士法に基く一級及び二級建築士は相次いで選考が行われ、既に大部分はその結果が明かになった。実際に建築士の資格による権利と義務の生ずるのも間近である。建築基準法と建築士法と建築業法の三者の完全施行によって、日本の建築界は新しい段階に入る筈である。

然し現実の建築界の様相はどうであろうか。不完全な材料、信頼し難い施工・非良心的な設計不合理な工事契約はあまりに多い。建築に関係する人々はすべてこの不満を感じて居る。けれどもその改善は遅々として進まない。

その原因の最大なもの1つは経済界の不安定である。敗戦直後に較べれば回復したとはいえ、日本経済の基盤は甚だ弱い。特需景気は一部の人々を富ますのみで、却つて大部分の国民を不安にさらして居る。明日の生活が保証されて居ない様な状態では、本格的な仕事はできない。

法律の文章のみ立派であつて、現実とは遙か下方で行き詰つて居るのが現実の姿である。経済的裏付けがなければ、如何な美辞麗句も空文に等しいのである。



時 の 言 葉	.....(1)
新 建 築 紹 介	
サーリネンの遺作	.....(2)
伊藤忠商事、鉢山アパート	.....(6)
○氏邸応接と玄関改装	.....(8)
建設業界のあり方	.....相沢喜久太郎(9)
AEコンクリートに就て	.....谷口 尙 武(13)
紫 烟 室	
皇居の家と庭	.....中野 順次郎(17)
私の建築観	.....渡辺 久 純(19)
建築積算便覧	.....(20)
アスファルト防水工事施工上の注意要項	.....関西建材会編(23)
各 会 記 録	.....昭和25年度(25)
会 員 動 静 及 会 報	

## 建 築 と 社 會

1951

6